

Global Energy Policy Research

GEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

今週のアップデート

アゴラシンポジウム報告 (2013年12月12日)

GEPR編集部 · Thursday, December 12th, 2013

今回、更新が遅れたことを、おわびします。

アゴラ研究所・GEPRは12月8日にシンポジウム「持続可能なエネルギー戦略を考える」を開催しました。200人の方の参加、そしてニコニコ生放送で4万人の視聴者を集めました。

シンポジウムパネリスト、参加者、視聴者の皆さま、誠にありがとうございました。

視聴者、参加者の皆さまからも、「原子力推進というイメージがアゴラ・GEPRにあったが、慎重意見も含め多様な見方が示されたのはよかった」「日本で伝えられない海外有識者の意見がよかった」などの御意見をいただきました。

今後も、私たちはエネルギーをめぐる正確かつ、適切な情報を提供していきます。

今週のアップデート

1) アゴラシンポジウム「持続可能なエネルギー戦略を考える」報告

シンポジウムのポイントをまとめました。詳細報告は、のちほど、アゴラ・GEPRに詳細を報告します。

2) 3・11以後のエネルギー・原子力政策-原子力依存度低減に向けた構造改革を

原子力委員会委員長代理の鈴木達治郎氏が、シンポジウムで使ったパワーポイント資料です。鈴木氏のご厚意で公開します。政策の現状が分かりやすくまとめられています。

3) 小泉発言、支持するなら朝日新聞らメディアは具体策を示せ - - おやおやマスコミ

エネルギーフォーラム社のご厚意で、同誌12月号掲載のコラムを転載します。小泉元首相の「原発ゼロ」の主張をめぐる各紙の発言を分析しています。

今週のリンク

新しいエネルギー基本計画（骨子案）（本文案）

経済産業省・資源エネルギー庁。現在、同庁は期限を区切らず意見を募集しています。
（[意見募集のウェブページ](#)）

）しかし、基本計画案は原子力の将来についてあいまいさを残す一方で、それを重要な電源と位置づけています。どの立場にも配慮したことで、明確さを欠くものになっています。

2) 原発は「重要電源」、エネ基本計画原案を提示

ロイター通信、12月7日記事。上記のエネルギー基本計画案が分かりやすくまとまっています。

3) 社説:新エネルギー計画 原発回帰は許されない

毎日新聞12月10日社説。やや脱原発に傾いているものの、新エネルギー基本計画の問題点を分かりやすく説明しています。

4) 世界エネルギー見通し2013年-IEA

国際エネルギー機関のマリア・ファン＝デル＝ブーヘン氏の講演資料を、経産省が翻訳しています。世界の需要増とシェールガス革命の行方の予想を示しています。

5) 原子力損害賠償制度の研究

アゴラ研究所所長、池田信夫氏の書評記事。遠藤典子氏の「原子力損害賠償制度の研究-東京電力福島原発事故からの考察」を紹介しています。東電事故の時、原子力損害賠償法で「巨大な天変地異」で免責されるという規定がなぜ適用されなかったのか。その問題を分析しています。

This entry was posted on Thursday, December 12th, 2013 at 12:30 pm and is filed under [アップデート](#), [コラム](#)

You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Responses are currently closed, but you can [trackback](#) from your own site.